



乃木小だより

～ かしこく つよく やさしい子 ～

～まつえ湖南学園～

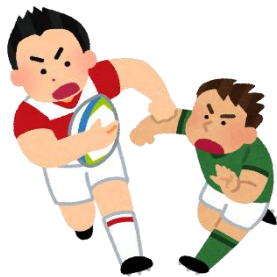
松江市立乃木小学校

令和5年9月20日

(文責)校長 野津

このところ阪神タイガースの“アレ（優勝）”の話題を連日耳にしますが、今年の夏もスポーツの国際大会に日本中が熱く湧いたような印象があります。8月にブダペストで行われた世界陸上競技選手権大会では、島根県出身の三浦龍司選手が3000m障害走で6位入賞しました。沖縄で試合が行われた男子バスケットボールの世界カップでは、日本チームが歴史的勝利を収め、アジア1位の結果により来年のパリオリンピック出場権を獲得しました。そして現在、フランスで開催中のラグビーワールドカップが盛り上がっています。日本のたくさんの人々が感動を味わい、選手の声や姿を自分の生活や生き方に重ね合わせてみているのではないのでしょうか。

8月29日の第2学期始業式では、このラグビーにかかわる内容を話題としました。前回2019年、当時東京オリンピックを翌年（実際は1年延期）に控えた日本で初めて開催されたワールドカップは、日本代表チームの活躍に大きな盛り上がりを見せました。過去の長い歴史の中では世界の強豪国に力の差を見せつけられ、苦難の連続で悔しい思いを胸に抱き続けながら歩んできた日本代表チーム。前回、「ONE TEAM」の合言葉のもと、想像を絶する厳しい練習を重ねて飛躍的に成長し、“ベスト8”という結果を残した日本代表チームのことは、各方面で広く取り上げられました。



子どもたちに4年前のこうした状況をわかりやすく説明することは容易ではありませんでしたが、ここから学ぶものはたくさんあることを紹介しました。今回、この流れを受けて出場するジャパン（日本代表チーム）の更なる活躍を、多くの人が再び思い描いて期待しています。国のルーツや言葉が異なる選手たちの多様性が、「日本代表」として一つにまとまり、大きな力となって挑戦していく姿は、社会のいろいろな場面に通じるものがありそうです。スポーツにあまり関心のない子も、少しでも気にかけてくれたらいいなあと願っています。

2学期が始まってしばらくたちました。今学期は、学校全体の大きな行事として10月に校内音楽会があります。今月27日には、全校異学年交流の「なかよし遠足」も予定されています。6年生は修学旅行。5年生は宿泊研修。4年生以下のもみなも学年に応じて様々な校外学習や活動が計画されています。教室での勉強もタブレットを活用するなどして充実を図っていきます。一人一人が、目標に向かって精いっぱい知恵と力を出し合い、協力し合って、達成感のある充実した経験を重ねていってほしいと思います。

楕円球のラグビーボールは、どこに転がっていくのか予想が立てづらいことから、よく「人生」に例えられます。この乃木小学校の2学期に、どんなドラマが生まれてくるのか楽しみでもあります。

One for all, All for one「ひとはみんなのために みんなはひとりのために（一つの目的のために）」の精神で、「ひとみかがやき笑顔あふれる」2学期にしていきたいと思っています。私たち教職員も子どもたちと一緒に頑張っていきます。



「対話でつなげる」 ～日々の授業と生活の中で～

乃木小学校では、「対話でつなげる」を研究の切り口に、質の高い「授業づくり」と笑顔があふれる「関係づくり」をめざして取り組んでいます。日々の授業をとおして、子どもたちが主体的に取り組み、表現力の豊かな学び合いを重ねていくとともに、教材やいろいろな立場の人との関係を築く力を高めることで個々の学びが深まり、学力向上につながると考えています。

一方、子どもたちの生活の中では、「何もしていないのに悪口を言われた」「ちょっと注意しただけなのにいきなり怒ってきた」などという食い違いからトラブルとなってしまうこともあります。「そういった意味で言ったんじゃないよ」と後でわかり合って納得することが多いのですが、普段の言い方に注意すれば、気まずい思いをしなくて済むことも少なくありません。受け止める側も伝えてくる相手の言葉や口調だけにとらわれず、その真意をくみ取ることが大切です。もちろんこれは、大人でも難しいことだと思います。

子どもたちは、学校や地域でいろいろな人とのかかわりや経験をとおしてコミュニケーションの方法や相手との適切な距離の取り方を学び成長していきます。大人が注意深く言葉を使い、子どもたちに正しく言葉を扱うことを教えていく必要もあります。言葉遣いは一朝一夕にはいきませんが、2学期の初めにあたり、学力向上だけでなく良好な人間関係を築くためにも、普段から言語環境を整え、語彙を増やし、仲間と共に対話をとおして学び合う中で「かしこく」「つよく」「やさしい」子どもに育ててほしいと思っています。



《 留守番応答電話の導入について 》

昨今、教職員の長時間勤務が社会的にもたびたび取り上げられ、「働き方改革」として大きな課題の一つとなっています。先日、保護者の皆様にはお知らせしたところですが、このたび、松江市教育委員会からの指示により、本校をモデル校として留守番応答電話（音声ガイダンス対応・録音機能なし）が導入されることとなりました。つきましては、下記のとおり運用します。電話対応の時間については、変更となりますが、これまで同様、学校と家庭・地域の皆様との連携は大切にしていきたいと思いますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

※ 留守番応答電話の設定時間

- (1) 平日（授業日） 午後6時 ～ 翌日午前7時30分
- (2) 夏休みなどの長期休業期間中 午後4時40分 ～ 翌日午前8時30分
- (3) 土日・祝日・学校閉庁日 終日

※ 設定時間に乃木小学校に電話をいただいてもつながりません。ただし、学校からの必要な連絡事項をお伝えするため、こちらから電話をおかけする場合があります。

※ 勤務時間内でも職員会議等の理由により電話対応ができない場合も、留守番応答電話設定にすることがありますのでご了承ください。

《 感染症予防に努めましょう 》

これも保護者の皆様には「ほけんだより」でお知らせしておりますが、松江市内でもインフルエンザやコロナ感染症の流行は、決して収まったわけではありません。学校でも、引き続き換気や手洗いの励行等の感染予防の指導に努めておりますが、ご家庭におかれましても必要に応じてマスクの着用や体調管理等にご配慮いただきますようお願いいたします。また、体調が悪い場合は決して無理をせず、医療機関を受診されることをお勧めします。みんなが感染症の影響をあまり受けることなく、今後の学習活動が計画に従って有意義に展開できることを願っています。